

(仮称) 八王子市男女共同参画推進条例の素案(案)の考え方

➤ (仮称) 八王子市男女共同参画推進条例検討会での主な意見

- 社会ではまだ、性別による無意識の思い込みがあると感じる。今のままで問題ないと考えている人たちの意識を変えることが課題である。
- 誰もが男女共同参画社会についての理解を深め、家庭、職場、学校地域その他の社会のあらゆる分野において自ら進んで、男女共同参画の推進に寄与するよう努めることが必要である。
- 性別だけでなく、年齢や障害の有無、国籍などに関係なく誰もが参画できることが必要である。
- 企業で女性が活躍するための労働環境の整備は、大企業では少しずつ着手されているものの、中小企業ではまだ進んでいるとは思えない。その大きな要因は、男女ともに持っている無意識の男女の格差意識や古くから刷り込まれた社会的な男女の格差意識が改革されていないからではないか。
- 社会における労働環境に対して、古い考え方への執着をなくし、男女共同参画進めていくメリットなどを情報共有することが必要である。
- 中長期的な男女共同参画の推進を見据えて、学生たちが卒業後も働き住み続けやすいまちづくりが必要である。また、安心して妊娠・出産できるまちであれば、未来を担う若者も定住するのではないか。
- DV やセクシュアル・ハラスメントなど性的な嫌がらせを含む暴力をなくすことが必要である。そのためには、幼少期からの教育により、男女がそれぞれの体のつくりについて十分な知識を持つことが必要である。
- 性教育やリプロダクティブ・ヘルス/ライツについて、段階に応じた適切な教育が必要である。



市内事業者(11社)への意見聴取

実施日 令和4年(2022年)1月14日、19日

➤ 意見要旨

- ダイバーシティは「個」を尊重することが重要である。
- 持続的な企業経営には多様な人材の雇用が欠かせない。性別や年代によって意識に偏りがあったため、従業員の意識を変えていった。
- 働き方改革は企業の生産性が高くないとできないため、両輪で取組を進めていった。業務を属人化せず、多能工化することが必要である。
- 「男性だから営業」「女性だから事務」といった業務の割振りは変えていかなければならない。
- 性別による配慮が必要な場面もある。しかし、本人にとっては不要な配慮である場合もあることを考慮しなければならない。



地域活動を経験した若者等への意見聴取

実施日 令和4年(2022年)1月28日

➤ 意見要旨

- 地域ではリーダーは男性で、女性はそのサポートを担うことが多く、文化として家父長制度が残っているように感じた。女性がリーダーを務めている地域でも、男性の強い意見に流されてしまう場面があった。
- 女性はあまり表に立とうとしない。男性であれば若くてもリーダーになれるだろうが、女性では難しいという意識が根底にあるのではないか。
- 地域で反発し合っていたコミュニティが、学生が間に入ることで結び付いた。地域は変化を嫌うものだと思っていたが、学生に新しいことをやらせてくれて、それが地域の価値の創出につながった。



➤ 条例のポイント

- 未だに男女共同参画が進んでいない要因の一つに固定的な性別役割分担意識や無意識の思い込みがある。未来を担う若者に対して、幼少期から意識啓発を行うことが重要。
- 企業によっては固定的役割分担意識が残っており、また、ワーク・ライフ・バランスが進んでいないため、男女共同参画が根付いている未来を担う子どもたちが社会に出ても違和感を持たないように、社会全体で男女共同参画を推進していくことも必要。
- 災害・防災、子育て、介護などの地域課題を地域で解決していくには、多様な視点が欠かせない。

- 性別だけでなく、年齢や障害の有無、国籍などを含めた多様性を認めあえる社会であるために、まずは、なかなか進んでいない男女共同参画をこれまで以上に推進していく必要がある

参考 みんなで目指す2040年の姿

人とひと、人と地域など多様なつながりを実感し、ほっとする住みよいまちをみんなで作っている。	住み慣れた地域で元気に年を重ね、人生100年時代を生き活きと暮らしている。	それぞれの個性を互いに認めあい、それぞれが望むフィールドで活躍している。		ワクワク感を持って、「やりたい!」に挑戦でき、笑顔で自分のみちを歩んでいる。
	子どもの幸せをみんながわかちあい、安心と喜びを持って子育てしている。	一人ひとりが高い防災意識を持ち、互いに支えあいながら、強さとしなやかさを持ったまちで安心して暮らしている。	行きたいときに、行きたいところへ簡単にアクセスでき、便利で快適な生活を送っている。	地域産業のイノベーションによって、より便利で豊かな生活を享受して暮らしている。
お気に入りの「ふるさと八王子」の魅力を発信し、世界が「Hachioji」の魅力を体感している。	地球規模で考え、地域で実践し、環境負荷ゼロのまちを目指しながら暮らしている。		自然と調和したまちで、みどりあふれる美しい空間を満喫しながら心豊かに暮らしている。	あなたのみちも、あるけるまち。

※「(仮称)はちおうじ未来デザイン2040 素案(長期ビジョン(基本計画)部分)概要版」より抜粋